

【優先証券を運用するスペクトラム社からの臨時コメント～大統領選の結果を受けて】

#### <全般>

米国大統領選挙の結果を受け、市場は「ブリクジット」のときと概ね類似した反応を示しました。トランプ氏が大統領になってまず予想されるのが、財政支出の拡大と減税で、これにより政府の借入が増加すると考えています。本日、国債利回りが大きく上昇したことも、この影響であると考えています。株式市場は夜間取引で一時5%下落したものの、上院・下院とも共和党が過半を占めたことでトランプ氏がオバマ大統領が実行できなかったインフラ投資を実現し、経済成長が促されるとの期待感から上昇に転じました。

長期的には、経済や市場が自力回復することにより、米連邦準備制度理事会(FRB)は金利正常化を進めやすくなり、貯蓄、成長、投資の機会を取り戻すことができるとみています。

#### <パフォーマンス>

11月9日の優先証券市場は、\*上場市場で-0.77%、店頭市場で-0.24%と下落しました。優先証券市場に最も影響を与えるのは金利動向です。これまでのデフレ環境から金利が正常化されることで、満期まで固定金利の上場25ドル額面証券にはマイナスに作用するとみています。一方、このような金利上昇環境においては、高クーポンの銘柄、初回期限前償還(コール)日以降に変動金利に上乘せる金利(バックエンド・スプレッド)の高い銘柄、新型ティア1証券にとってはプラスとなるでしょう。

\*上場: バンクオブアメリカ・メリルリンチ固定利付優先証券インデックス

店頭: バンクオブアメリカ・メリルリンチ US キャピタル・セキュリティーズ・インデックス

#### ■重要な情報

当資料は運用報告の一環としてご提供するものであり、当戦略の勧誘を行うものではありません。

当資料に掲載の情報は、弊社において信頼できると考える情報源に基づいて作成していますが、適用法令にて規定されるものを除き、弊社およびプリンシパル・ファイナンシャル・グループの関連会社は当資料中の情報・意見等の公正性、正確性、妥当性、完全性等を保証するものではありません。また、当資料中の意見および予測等は作成時における判断であり、予告なく変更されることがあります。当資料中の情報は、弊社の文書による事前の同意が無い限り、その全部又は一部をコピーすることや配布することは出来ません。なお、当資料中の情報は、投資に関する完全な情報が記載されているものとして依拠されるべきではありません。

プリンシパル・グローバル・インベスターズ株式会社

東京都千代田区内幸町一丁目1番1号 帝国ホテルタワー

お問合せ先: 営業部 03-3519-7880(代表)/pgij.marketing@principal.com

ホームページ: <http://www.principalglobal.jp>

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第462号

一般社団法人 日本投資顧問業協会会員番号: 第011-01627号